

「令和6年能登半島地震」への対応について

日本赤十字社福井県支部
(令和6年1月12日9:00調製)

1 地震の概要

- ・ 発生時刻 令和6年1月1日16時10分頃
- ・ 震源地 石川県能登地方（震源の深さ：16km）
- ・ 地震の規模 マグニチュード7.6
- ・ 震度状況
 - 石川県：震度7（志賀町）、震度6強（七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町）
 - ※ 福井県：震度5強（あわら市）、震度5弱（福井市、坂井市）
 - 石川県能登に大津波警報、福井県沿岸等に津波警報発表
- ・ 被害状況（1月11日14:00現在：石川県）
 - 死者 213名（うち8名関連死） 安否不明者37名
 - 負傷者 550名以上、住宅被害1,900棟以上（いずれも確認中）
 - インフラ・ライフライン（土砂崩れ、道路寸断、断水、停電など）
 - ※ 福井県：軽傷者6名、土砂流出、道路液状化、一部地域で断水ほか

2 日赤福井県支部の対応状況

- ・ 支援チーム等の派遣
 - 1 コーディネートチーム
 - 第1隊（3名：1月2日～4日の3日間）
救護班の派遣調整
 - 2 救護班
 - 第1班（7名：1月2日～4日の3日間）
高齢者施設でのアセスメントを実施
 - 第2班（8名：1月8日～11日の4日間）
避難所等での巡回診療、コロナ患者等への対応、感染管理指導、薬剤処方等
 - 3 DMAT
 - 患者搬送・受入対応（6名：1月6日）
能登町（柳田温泉病院）⇒福井空港SCU⇒福井赤十字病院
 - 第1隊（5名：1月8日～13日の6日間）
患者搬送・受入支援（珠洲市→小松市民病院）
石川県立中央病院での医療支援
小松空港SCUに移送されてきた患者の病院搬送
患者搬送に必要な新たなSCUの設営・指揮（石川総合スポーツセンター）



- ・ 救援物資の搬送

(1月3日：救護奉仕団延べ6名の協力)

毛布、安眠セットをそれぞれ穴水町、珠洲市に搬送

穴水町 (毛布 500 枚、安眠セット 50 セット)

珠洲市 (毛布 500 枚、安眠セット 51 セット)

(1月5日)

毛布 500 枚を富山県支部に搬送

(1月6日)

ラップポン (簡易トイレ) 10 台を石川県支部に搬送

- ・ 「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付開始 (令和6年1月4日～12月27日)

- ・ 日赤石川県支部災対本部へ支援要員 (予定)

派遣 (1名：令和6年1月14日～18日の5日間)



3 福井赤十字病院における患者受入

- ・ 1月7日 2名受入

柳田温泉病院 (能登町) ⇒福井空港SCU⇒福井赤十字病院

- ・ 1月9日 5名受入

市立輪島病院⇒自衛隊によって福井空港にヘリ搬送⇒福井赤十字病院

※下線部は追加・更新箇所、網掛け部は未確定部分